

# 第3期営業の中間ご報告

中間ミニディスクロージャー誌

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

思いを預かる。  
思いをつなぐ。



東京TYFG

株式会社 東京TYフィナンシャルグループ 証券コード：7173

LittleTwinStars



# 東京TYフィナンシャルグループについて

## グループ概要 (平成28年9月30日現在)



東京TYフィナンシャルグループ

本社 東京都新宿区新宿五丁目9番2号  
 設立 平成26年10月1日  
 資本金 275億円  
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
 (証券コード 7173)  
 ホームページ <http://www.tokyo-tyfg.co.jp/>  
 アドレス



東京都民銀行  
 TOKYO TOMIN BANK

本店 東京都港区六本木二丁目3番11号  
 設立 昭和26年12月  
 資本金 556億20百万円  
 店舗数 78カ店  
 従業員数 1,603名  
 ホームページ <http://www.tominbank.co.jp/>  
 アドレス



八千代銀行

本店 東京都新宿区新宿五丁目9番2号  
 設立 大正13年12月  
 資本金 437億34百万円  
 店舗数 85カ店  
 従業員数 1,598名  
 ホームページ <http://www.yachiyobank.co.jp/>  
 アドレス



新銀行東京

本店 東京都新宿区西新宿一丁目21番  
 1号 明宝ビル  
 設立 平成16年4月  
 資本金 200億円  
 店舗数 1カ店  
 従業員数 166名  
 ホームページ <http://www.sgt.jp/>  
 アドレス

## スローガン・ロゴマークに込めた思い



思いを預かる。思いをつなぐ。

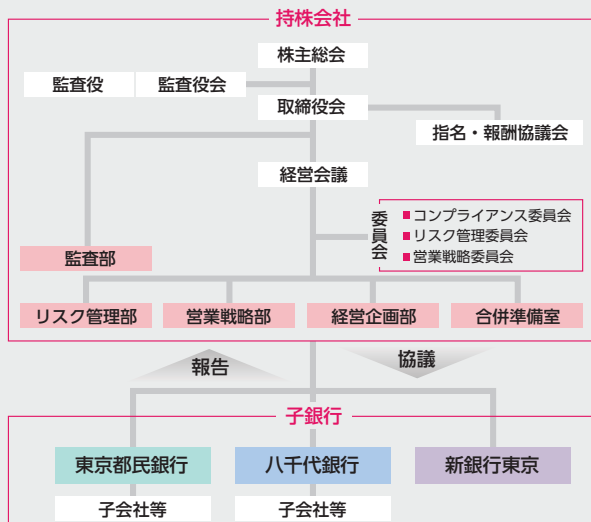
東京TYフィナンシャルグループ

「お客さまの一番そばにいて、  
 一番頼られる金融機関でありたい。」

これが、東京TYFGの願いです。スローガンには、お客さまの事業拡大への夢や豊かな明日への希望など多くの“思い”をお預かりし、お客さま一人ひとりのニーズにお応えし、次のステージへ、未来へつなげたいという気持ちが込められています。

ロゴマークは、「人」という漢字をモチーフにしており、カラフルな配色で、人、街、企業、多彩な個性にあふれた首都圏エリアの活き活きとした躍動感を表現。東京TYFG、そしてお客さまの思いが一体になり、未来へ力強く歩き出すイメージを形にしました。

## 体制図 (平成28年9月30日現在)



## Contents

東京TYフィナンシャルグループについて	1	業績ハイライト	11
ごあいさつ	2	財務諸表 (連結)	12
東京TYFGから、東京圏に輝く東京きらぼしFGへ	3	決算ハイライト	13
東京圏の地域金融の未来を支えるための戦略と取組み	5	東京TYフィナンシャルグループのCSR	17
TOPICS	7	店舗ネットワーク	20
金融プラットフォームサービス“Club TY”の推進	8	株式のご案内	21

# ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、平成28年度中間期のグループの概況等を取りまとめたミニディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

私たち東京TYフィナンシャルグループは、「首都圏における中小企業と個人のお客さまのための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献します。」という経営理念を掲げ、首都圏においてお客さまから真に愛される地域No.1の都市型地銀グループを目指しております。

当社の子銀行3行は、関係当局の許認可の取得等を前提として、平成30年5月1日の合併を予定しております。新しい銀行の商号は、「お客さまの夢を一段と明るくきらめかせたい」「お客さまの思いを預かり、次の世代へ力強くつないでいく」という願いを込め、「きらばし銀行」といたしました。また、3行合併と同時に、当社の商号も「東京きらばしフィナンシャルグループ」とする予定です。

3行合併という新たなステージに向け、独自性のある金融サービスを提供する“きらりと光る銀行”、東京圏の特色を活かして“チャレンジする銀行”、お客さまや地域、職員の“思いをつなぐ銀行”として、資金仲介機能に加え、地域の中小企業や個人のお客さまのさまざまなニーズにお応えするためのコンサルティング機能の拡充を図ってまいります。

地域の皆さまとともに発展し、グループ一体となって地域社会・地域経済の発展に貢献していく所存でございますので、従来にも増して、温かいご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
味岡 桂三

代表取締役会長  
高橋 一之

## 経営理念

首都圏における中小企業と個人のお客さまのための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献します。

## 経営方針

独自性のある金融サービスの提供により、地元地銀として永続的に存在する ..... **きらりと光る銀行**

お客さまや地域経済の発展に貢献するために、東京圏の特色を活かして挑戦し続ける ..... **チャレンジする銀行**

お客さま、地域、職員の「思い」を大切にして、常に信頼され必要とされる存在になる ..... **思いをつなぐ銀行**

## 私たちが大切にしたい中小企業や個人のお客さまの 思いを預かる。思いをつなぐ。

融資に加えて事業計画作りについても相談にのってほしい

会社を子どもに引き継がせるために事業承継を手伝ってほしい

この商品を拡販するにあたり、有効な販路を紹介してほしい

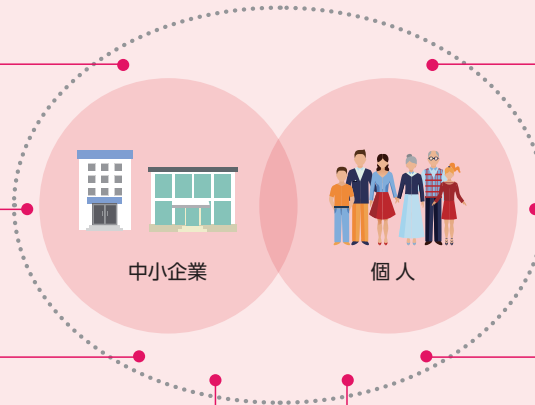
海外拠点を開設するときの現地の市場や法制度などの情報を知りたい

相続対策が必要なので、わかりやすく教えてほしい

自宅を建てるので、相談にのってほしい

老後を見据えて、今のうちから資産運用を考えたい

給料日前に急にお金が必要になったので、何とかしたい



当社グループの東京都民銀行、八千代銀行および新銀行東京の3行は、関係当局の許認可の取得等を前提として、平成30年5月1日に合併を予定しております。

## 持株会社

商号

### 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

(英文名称: Tokyo Kiraboshi Financial Group, Inc.)

※本件合併の効力発生日に、東京TYフィナンシャルグループの商号を変更する予定

## 合併後の銀行

商号

### 株式会社きらぼし銀行

(英文名称: Kiraboshi Bank, Ltd)

※本件合併の効力発生日に、吸収合併存続会社である八千代銀行の商号を変更する予定

本店所在地……東京都港区南青山3丁目 資本金……437億円

#### ● 新しい銀行名の由来

きらぼし。きらめく星。東京圏でお客様の夢を一段と明るくきらめかせたい。シャープで、それでいて親しみやすい語感をそのまま生かして、お客様の思いを預かり、次の世代へ力強くつないでいくという願いを名前に込めました。

平成30年5月1日  3行合併



東京TYフィナンシャルグループ



東京都民銀行  
TOKYO TOMIN BANK



八千代銀行



新銀行東京

# 東京圏の地域金融の未来を支えるための戦略と取組み

## 全体戦略

お客さまとの密接なリレーションに基づく  
真の金融仲介機能の発揮による  
課題解決や本業支援の実践

お客さまのニーズの把握と  
施策への反映

- 平成28年10月よりお客さまアンケートを実施

地元地銀として  
幅広いお客さまとの接点を活かした  
グループ全体での専門性の発揮による  
コンサルティング機能の提供

東京TYコンサルティング  
グループの新設

- 平成28年7月より3行協働体制のグループを編成

コンサルティンググループの  
別法人化の検討

信託機能を活用した  
ソリューション強化

- 新銀行東京の信託ノウハウの拡充

専門性を活かした  
ビジネス展開

- 各行の強みを共有し、医療福祉や不動産分野での積極的なビジネス展開

東京圏の特色を活かした機能強化と  
幅広いネットワークの構築による  
新しい価値提供や新事業領域の発掘

東京都、神奈川県等との  
各種連携の強化

- 包括連携協定、覚書等の締結

三井住友信託銀行との  
業務提携の拡大

- 業務提携によるフィージビネスの拡充

中小企業のアジアビジネス支援

- 海外進出・海外業務のサポート強化

中長期的な視野に立った経営体制の強化

ビジネス戦略協議会の設置

- 柔軟かつ幅広い視野での「ビジネス戦略の立案」、「新たな施策」を検討

お客さまから選ばれ  
信頼される人材の育成

- 創意工夫により課題解決に取り組み、常に挑戦する人材を育成

## 実施施策

### 東京TYコンサルティンググループの新設

平成28年7月、中小企業のお客さまに対し、事業承継やM&A等に関するさまざまな金融サービスによるサポートを行うため、3行協働体制の「東京TYコンサルティンググループ」を編成いたしました。また、専門性を高め、より高度なノウハウをご提供するために、グループを増員するとともに、平成29年3月までの別法人化を検討してまいります。

### 東京都、神奈川県等との各種連携の強化

東京都 **産業振興に関する包括連携**  
平成27年9月  
「東京における産業振興に関する包括連携協定」の締結

神奈川県産業技術センター\*  
平成28年6月  
「業務連携に関する覚書」の締結

東京都中小企業振興公社 **経営支援全般**  
平成28年3月  
「業務連携・協働に関する覚書」の締結

横浜企業経営支援財団 (IDEC) が主催する「横浜ビジネスグランプリ」に協賛\*  
(横浜での起業や新規事業に挑戦するビジネスプランを全国から発掘するコンテスト)

東京しごと財団 **雇用・人材確保支援**  
平成28年4月  
「雇用・就業支援の協力に関する協定」の締結

「さがみロボット産業特区(注)」の協議会委員として事業の運営に協力\*。

東京都立産業技術研究センター **技術支援**  
平成28年5月  
「業務連携に関する協定」の締結

(注) 地域活性化総合特別支援制度を活用し、生活支援ロボットの実用化や普及を促進する拠点となる神奈川県内の地域。  
\*印は、八千代銀行との連携

### 三井住友信託銀行との業務提携の拡大

業務提携によるフィージビネスの拡充

平成28年6月 三井住友信託銀行との業務提携

《法人向け商品・サービス》

- ビジネスマッチング業務
- 不動産担保ローン業務 他

《個人向け商品・サービス》

- 遺言信託・遺産整理業務
- 相続関連ビジネス 他



高度な金融サービスの提供  
収益力の強化





## TOPICS トピックス

### 「スカイオーシャン・アセットマネジメント」への出資を含めた業務提携

当社は、平成28年8月、横浜銀行、三井住友信託銀行、京都銀行、群馬銀行との間で、横浜銀行と三井住友信託銀行が設立した資産運用会社「スカイオーシャン・アセットマネジメント」への出資を含めた業務提携契約を締結いたしました。

今後、「スカイオーシャン・アセットマネジメント」が設定・運用する中長期的かつ安定的な資産運用に資する投資商品をお客さまにご提供するとともに、三井住友信託銀行の「コア&サテライト運用戦略」に基づく投資商品販売に関するノウハウ等も活用し、お客さまのニーズに合った商品提案力の更なる向上を図ってまいります。



(左より) 三井住友信託銀行社長 常陰 均氏、東京TYフィナンシャルグループ社長 味岡 桂三、横浜銀行頭取 川村 健一氏

### 「じもとホールディングス」との連携協定の締結

当社は、平成28年11月、きらやか銀行および仙台銀行を傘下に置く「じもとホールディングス」との間で、それぞれの経営基盤・営業エリアにおいて有する情報・ネットワークを活用し、“地元中小企業のお取引先への本業支援”の進化・発展を図るため、「本業支援に関する連携協定書」を締結いたしました。

この連携により、当社グループが地盤とする東京圏の中小企業の皆さまと、東北エリアの「人・情報・産業」を結びつけ、事業承継・M&A、ビジネスマッチングなど本業支援の付加価値を高めてまいります。

### 産業交流展へ出展

当社は、平成28年10月31日～11月2日の3日間、東京都および東京商工会議所、東京都の関連団体等が主催する「産業交流展2016」に金融機関として唯一出展いたしました。当社ブースでは、海外進出のお手伝いやビジネスマッチングのご支援、人材確保支援など、本業支援をさせていただいたお取引先24社についてパネル紹介をいたしました。



# 金融プラットフォームサービス“Club TY”の推進

## “Club TY”とは

東京TYフィナンシャルグループの東京都民銀行、八千代銀行および新銀行東京が連携することによって提供が可能になる、より多様で広範な金融サービスを、3行の法人・個人のお取引先などすべてのお客さまが、必要な時に最適なタイミングで、かつ、ワンストップでご利用いただける仕組みです。





# 金融プラットフォームサービス“Club TY”の推進

## ① ファイナンスに関するご支援

### ■ 協調・融資先紹介等

当社グループでは、子銀行の164におよぶ店舗ネットワークによるお客さま紹介の仕組みを活用し、グループ内での協調融資や案件紹介などにより、お客さまの資金ニーズにお応えできる体制を整備しております。

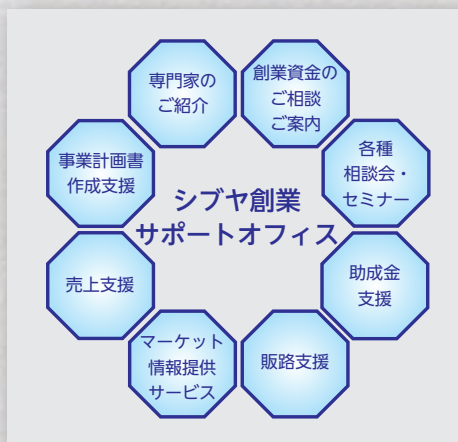
### ■ 公共工事代金債権信託「コントラスト」

当社グループでは、新銀行東京が取扱っている、工事完成前に工事請負代金債権を現金化できる公共工事代金債権信託「コントラスト」を活用し、東京都や都関連団体、都内市区町村から公共工事を受注・施工している元請業者の皆さまをサポートしております。本商品は、公共工事発注者の信用力を背景に、低コストでの資金調達が可能となる信託商品です。

### ■ 「シブヤ創業サポートオフィス」の利用による創業融資

当社グループは、創業等をお考えのお客さまに対し、八千代銀行の創業支援機能である「シブヤ創業サポートオフィス」を利用していただける体制を採っております。

同オフィスでは創業を希望されるお客さまや、開業して間もないお客さまへのサポートを積極的に行っております。創業資金のご案内に留まらず、事業計画の作成支援、販路拡大・売上拡大支援としてビジネスマッチングの場のご提供など、さまざまなご相談や経営課題の解決に向け、総合的なコーディネイトサービスを展開しております。



## ② 機能活用によるご支援

### ■ 海外進出・海外ビジネスのサポート

東京都民銀行は中国上海に「都民銀商務諮詢（上海）有限公司」を設立し、多くの中小企業が進出する中国でコンサルティングサービスを展開しております。また、中国・タイ・インドネシア・インド・フィリピン・ベトナムの現地銀行と業務提携し、ASEAN諸国でのビジネスや金融事情に強い人材の育成にも努めております。

また八千代銀行においても、平成28年10月、ベトナム投資開発銀行との間で、ベトナム進出支援等に関する包括業務提携契約を締結いたしました。こうしたノウハウの向上により、当社グループのお取引先に対し、より高度な海外進出・海外ビジネスのサポートが可能となっております。



## ■ 創業支援

当社グループでは、八千代銀行にて「さがみはら産業創造センター」(SIC)と連携し、SICが運営する「八千代起業家支援プログラム」の各種支援サービスをご提供しております。また、東京都の「インキュベーションHUB推進プロジェクト」において提案が採択された連携体「STARTUP GARDEN & TOKYO」等を通じ、お客さまの創業支援に取り組んでおります。

## ③ 本業支援、コンサルティング

### ■ ビジネスマッチングの場のご提供

当社グループは、「Club TY 推進室」を設置し、ビジネスマッチングの専任者を配置するなど、お取引先企業に対する情報交換やご商談の場の提供に積極的に取り組んでおります。さまざまな形で商談会や交流会を開催し、お取引先の販路拡大等をご支援させていただいております。

また、東京都民銀行と八千代銀行では、平成23年よりビジネスマッチングイベントを共同開催しております。平成28年5月には新銀行東京も加わり、展示・商談会「TOKYO TY ビジネス交流展2016」を開催いたしました。155のさまざまな業種の企業・団体にご出展いただき、7,000人以上の方々がお来場されました。

### TOKYO TY ビジネス交流展2016 開催

— 頑張る企業の魅力を再発見! 未来へつなげる出会いの場! —



## ■ 「前給」の活用

東京都民銀行が取扱う「前給」は、給料日前に働いた範囲内でお金を受取ることができる銀行業界初の給与随時支払サービスです(平成17年6月にビジネスモデル特許を取得)。グループ全体のお取引先へご提案し、申込受付から振込まできめ細かくサポートしております。導入企業の増加とともに、全国的にご利用件数も拡大しております。

## ■ 事業承継・M&A

中小企業の事業承継やM&Aに関するニーズが高まっており、当社グループでは、同部門の当社子銀行の専門担当者を増員し、「東京TYコンサルティンググループ」と称して3行協働でお客さまのサポートを行っております。

また、東京都中小企業振興公社と連携した融資商品「事業承継・相続対策サポートローン」の取扱いや、セミナー・相談会の開催等を通じ、事業承継の課題やM&Aのニーズを持つお客さまを積極的にサポートしております。

## ■ 相続関連業務

高齢化社会の進展や相続税制の改正等により、相続に関するお客さまのニーズが高まっております。

当社グループでは、子銀行による信託代理店としての遺言信託・遺産整理業務の取扱いをはじめ、さまざまな外部の専門家と連携したサポートにより、こうしたお客さまのニーズにお応えしております。

また、相続に関するセミナーや個別相談会も開催しており、多くのお客さまにご参加いただいております。

# 業績ハイライト

## 東京TYフィナンシャルグループ連結業績

(単位：百万円)

科目	平成28年9月期	平成27年9月期	前年同期比
経常収益	40,816	39,791	1,025
経常利益	4,964	6,697	△1,733
親会社株主に帰属する中間純利益	23,565	4,790	18,775
連結自己資本比率	10.35%	9.01%	1.34%

※平成28年9月期における「親会社株主に帰属する中間純利益」には、経営統合に伴う「負ののれん発生益」194億円を含んでおります。

## 3行合算（単体）

(単位：百万円)

科目	3行合算（単体）		
	平成28年9月期	平成27年9月期	前年同期比
経常収益	43,844	43,443	401
コア業務粗利益	37,708	36,892	816
うち資金利益	31,108	30,442	666
経費	29,360	29,095	265
コア業務純益	8,348	7,797	551
与信費用	724	1,372	△648
経常利益	7,694	7,901	△207
中間純利益	6,756	5,957	799

(単位：百万円)

科目	東京都民銀行（単体）		八千代銀行（単体）		新銀行東京（単体）	
	平成28年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成27年9月期
経常収益	21,606	21,452	18,680	18,529	3,557	3,462
コア業務粗利益	18,770	18,171	16,193	15,937	2,743	2,783
うち資金利益	14,994	14,443	13,415	13,296	2,697	2,702
経費	14,490	14,269	12,814	12,861	2,054	1,964
コア業務純益	4,279	3,901	3,378	3,076	689	818
与信費用	678	900	271	312	△226	159
経常利益	3,866	3,661	3,086	3,541	741	698
中間純利益	3,220	2,771	2,909	2,489	626	696

## 東京TYフィナンシャルグループの平成29年3月期連結業績予想

経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	平成29年3月期配当予想（1株当たり）		
		中間配当	期末配当	年間配当金
89億円	251億円*	30円	30円	60円

業績の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想値と異なる場合があります。

※新銀行東京との経営統合に伴う「負ののれん発生益」194億円を含んでおります。

# 財務諸表（連結）

## 中間連結貸借対照表（平成28年9月30日現在）

(資産の部)		(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
現金預け金	477,098	預金	4,770,769
コールローン及び買入手形	24,860	譲渡性預金	28,316
買入金銭債権	35,646	コールマネー及び売渡手形	5,000
商品有価証券	723	債券貸借取引受入担保金	325,979
有価証券	1,344,157	借入金	93,353
貸出金	3,608,792	外国為替	962
外国為替	5,721	社債	16,000
その他資産	28,376	その他負債	37,464
有形固定資産	55,884	賞与引当金	2,259
無形固定資産	2,010	退職給付に係る負債	5,412
繰延資産	96	役員退職慰労引当金	97
退職給付に係る資産	9,987	ポイント引当金	56
繰延税金資産	8,360	利息返還損失引当金	13
支払承認見返	9,015	睡眠預金払戻損失引当金	1,031
貸倒引当金	△29,532	偶発損失引当金	667
資産の部合計	5,581,200	繰延税金負債	2,395
		再評価に係る繰延税金負債	14
		支払承諾	9,015
		負債の部合計	5,298,812
		(純資産の部)	
		科目	金額
		資本金	27,500
		資本剰余金	150,806
		利益剰余金	103,607
		自己株式	△597
		株主資本合計	281,315
		その他有価証券評価差額金	5,996
		繰延ヘッジ損益	10
		土地再評価差額金	△209
		為替換算調整勘定	4
		退職給付に係る調整累計額	△5,082
		その他の包括利益累計額合計	719
		新株予約権	95
		非支配株主持分	257
		純資産の部合計	282,388
		負債及び純資産の部合計	5,581,200

## 中間連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

科目	金額
経常収益	40,816
資金運用収益	29,236
うち貸出金利息	23,284
うち有価証券利息配当金	5,296
信託報酬	20
役員取引等収益	7,995
その他業務収益	2,761
その他経常収益	803
経常費用	35,851
資金調達費用	1,882
うち預金利息	1,142
役員取引等費用	1,417
その他業務費用	511
営業経費	30,236
その他経常費用	1,803
経常利益	4,964
特別利益	19,443
固定資産処分益	0
負ののれん発生益	19,443
特別損失	97
固定資産処分損	97
税金等調整前中間純利益	24,311
法人税、住民税及び事業税	989
法人税等調整額	△268
法人税等合計	721
中間純利益	23,590
非支配株主に帰属する中間純利益	25
親会社株主に帰属する中間純利益	23,565

## 中間連結株主資本等変動計算書（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）

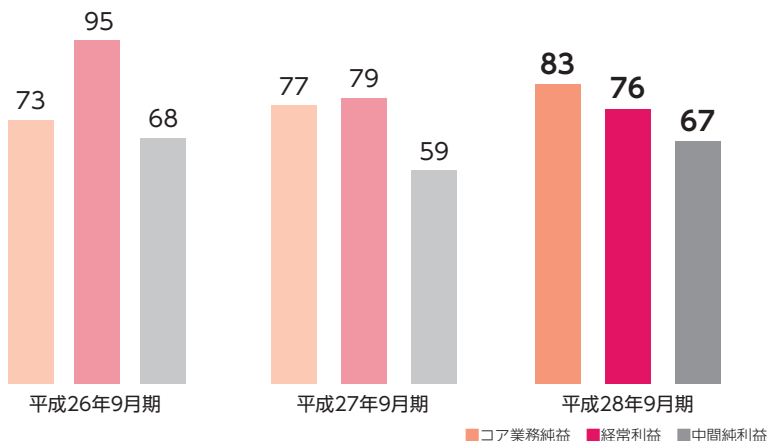
(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額				その他の包括利益累計額合計
当期首残高	20,000	99,585	80,913	△594	199,905	8,390	6	△209	11	△5,221	2,977	46	286	203,216
当中間期変動額														
新株の発行	7,500	7,500			15,000									15,000
株式交換による増減		43,719			43,719									43,719
剰余金の配当			△871		△871									△871
親会社株主に帰属する中間純利益			23,565		23,565									23,565
自己株式の取得				△12	△12									△12
自己株式の処分		0		9	10									10
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）						△2,394	3	—	△6	139	△2,258	49	△29	△2,238
当中間期変動額合計	7,500	51,220	22,693	△3	81,410	△2,394	3	—	△6	139	△2,258	49	△29	79,172
当中間期末残高	27,500	150,806	103,607	△597	281,315	5,996	10	△209	4	△5,082	719	95	257	282,388

# 決算ハイライト (3行合算・単体)

## 損益の状況

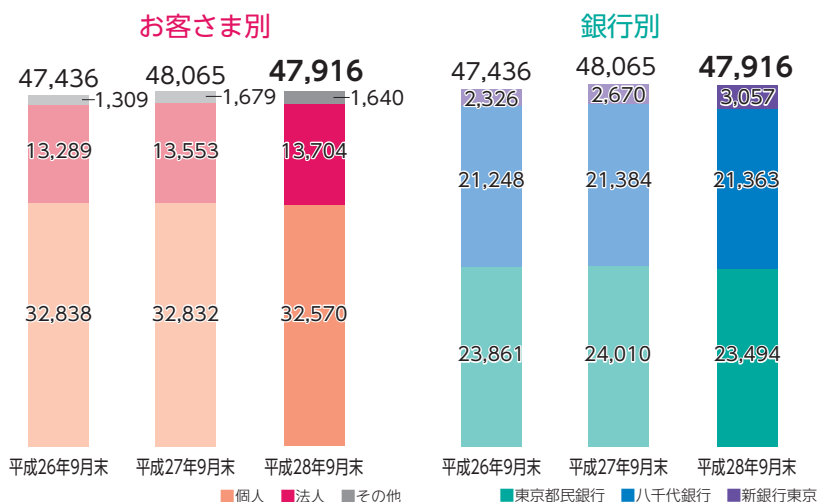
(単位：億円)



コア業務純益は、東京都民銀行および八千代銀行にて「子会社からの配当」が増加したこと等により、前年同期比6億円増加の83億円となりました。経常利益は、臨時損益が減少したこと等により、同3億円減少の76億円となりましたが、中間純利益は、法人税等調整額の減少等により、同8億円増加の67億円となりました。

## 預金残高

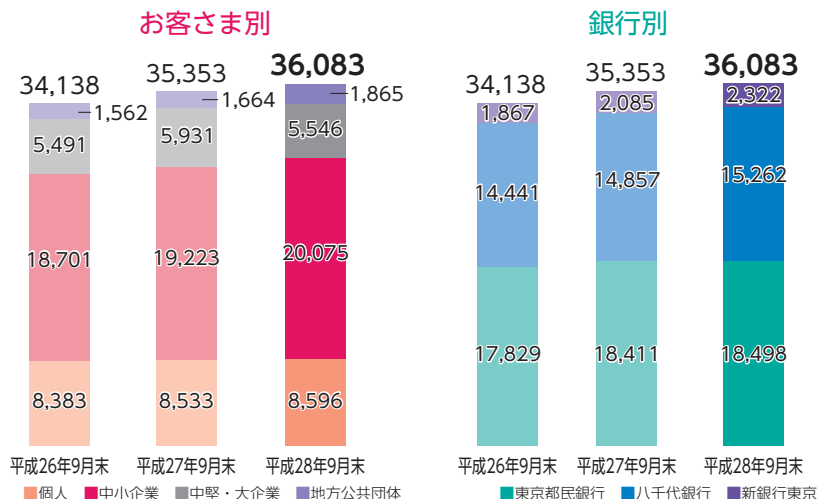
(単位：億円)



お客さま別の預金残高については、法人預金は、運転資金確保が続いていること等から前年同期比151億円増加しましたが、個人預金は、金利低下等の影響や、預かり資産へのシフト等の影響により同262億円減少し、合計では同149億円減少の4兆7,916億円となりました。

## 貸出金残高

(単位：億円)



お客さま別の貸出金残高については、法人開拓等に向けた営業体制の強化を図ったこと等により、中小企業のお客さま向けの貸出が前年同期比852億円増加し、合計では同730億円増加の3兆6,083億円となりました。

業種別の貸出金構成比については、さまざまな業種に分散され、バランスのとれた貸出金ポートフォリオとなっております。

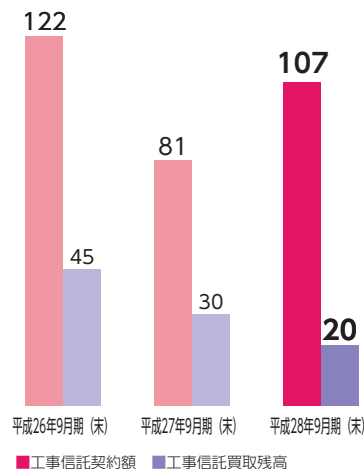
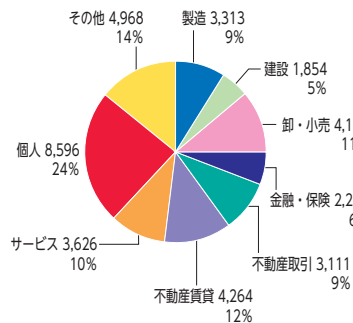
## 工事信託\*

(単位：億円)

※公共工事代金債権信託「コントラスト」

## 業種別貸出金残高および構成比

(単位：億円)

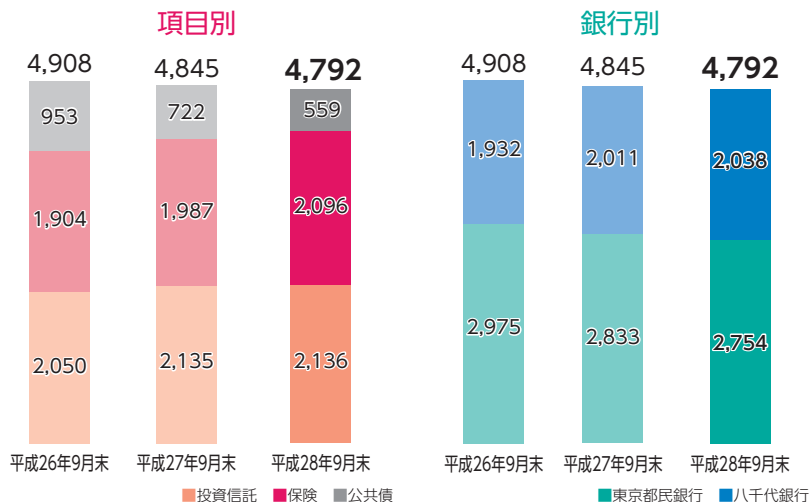


新銀行東京が取扱っている工事信託については、地方公共団体の前払金の充実や資金調達環境の好転等により、買取残高は前年同期比10億円減少の20億円となりましたが、契約額は、東京都市銀行および八千代銀行によるお客さまへの紹介活動を開始したこと等により、同26億円増加の107億円となりました。

# 決算ハイライト (3行合算・単体)

## 預かり資産残高

(単位：億円)

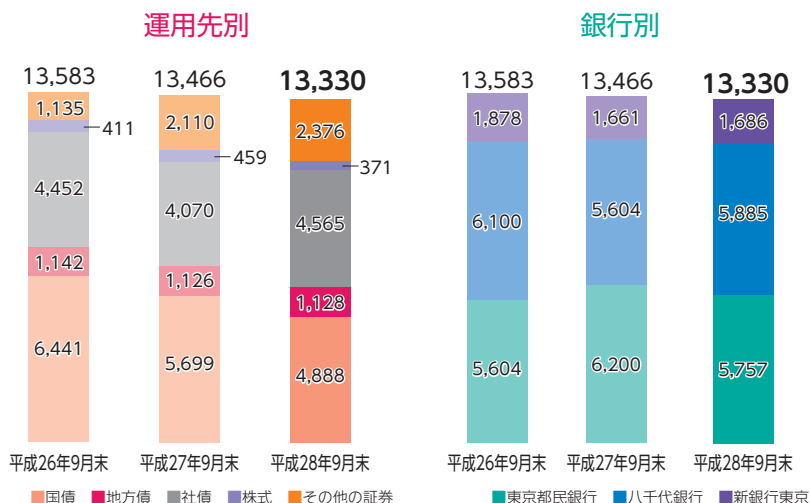


投資信託は、基準価額が下落し、お客さまの投資姿勢にも慎重さが見られるようになりましたが、コア資産を中心とした残高の積上げを推進したことで、前年同期比1億円増加の2,136億円となりました。保険は、マイナス金利の影響により一部保険商品の売り止めや予定利率の低下等もありましたが、同109億円増加の2,096億円となりました。

なお、新銀行東京では、投資信託・保険等の預かり資産を取扱っておりません。

## 有価証券残高

(単位：億円)



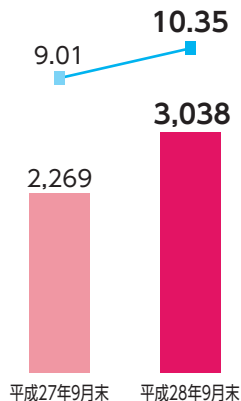
運用先別の有価証券残高については、低金利の環境下、米国債等の外債をはじめ、運用の多様化・分散投資を進め、社債や外国債券等のその他の証券が増加しましたが、国債が大きく減少したことで、合計では前年同期比136億円減少の1兆3,330億円となりました。

## 連結自己資本比率（国内基準）

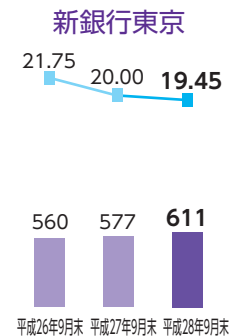
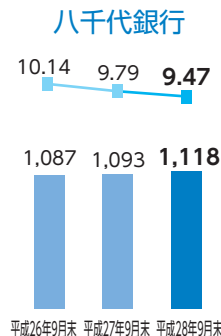
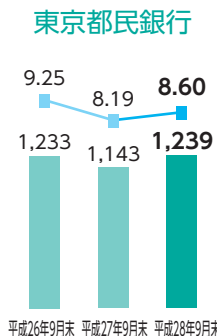
（単位：億円、％）

### 東京TYフィナンシャルグループ

東京TYフィナンシャルグループの連結自己資本比率は、平成28年6月に150億円の優先株式による第三者割当増資を行ったこと等により、前年同期比1.34ポイント上昇の10.35%となりました。



※ 東京TYFGは、26/10の設立のため27/9から表示しております。  
 ※ 27/9には新銀行東京の計数は含まれておりません。

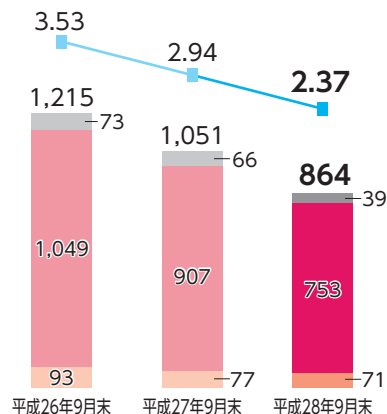


■ 自己資本 ■ 自己資本比率

## 金融再生法開示債権

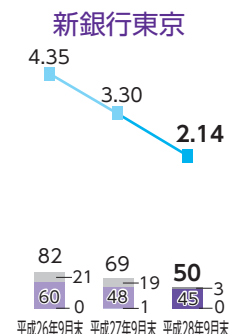
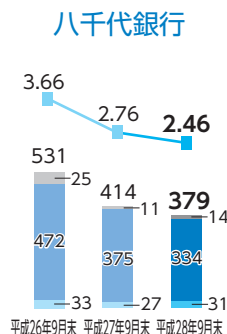
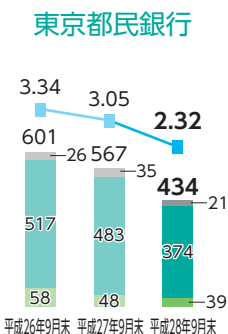
（単位：億円、％）

### 3行合算



お取引先の業況が比較的安定していることや、事業再生へのご支援にも注力していること等により、残高は前年同期比187億円減少の864億円となり、比率も同0.57ポイント低下の2.37%となりました。

※ 3行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の計数を記載しております。

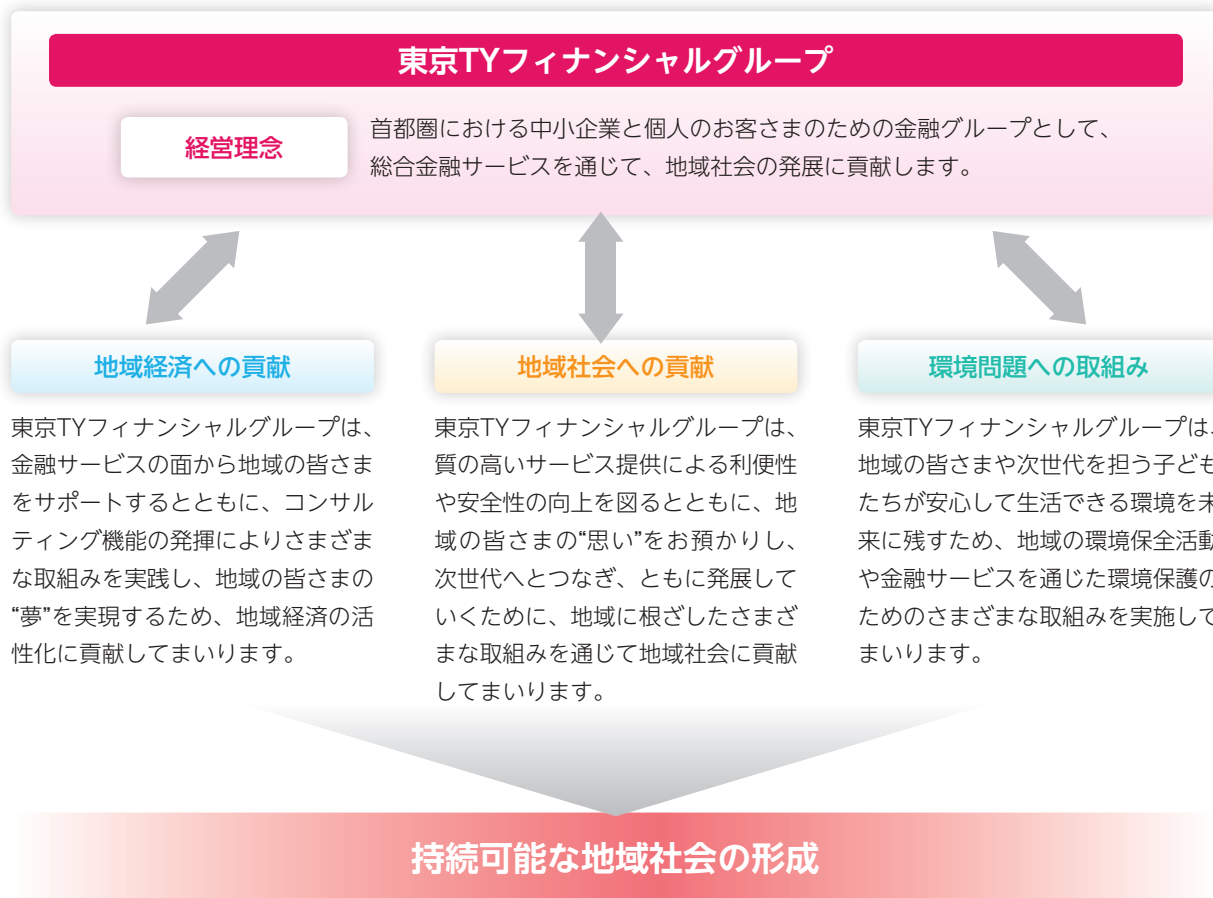


■ 破産更生債権等 ■ 危険債権 ■ 要管理債権 ■ 金融再生法開示債権比率



## 東京TYフィナンシャルグループのCSRに対する基本的な考え方

地域No.1の都市型地銀を目指す私たち東京TYフィナンシャルグループは、CSR経営を実践し、持続可能な地域社会の形成に貢献することが経営の最重要課題のひとつであると考え、「首都圏における中小企業と個人のお客さまのための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献します。」という経営理念のもと、「地域経済への貢献」「地域社会への貢献」「環境問題への取組み」の3つを行動指針と定め、CSR活動に積極的に取組んでまいります。



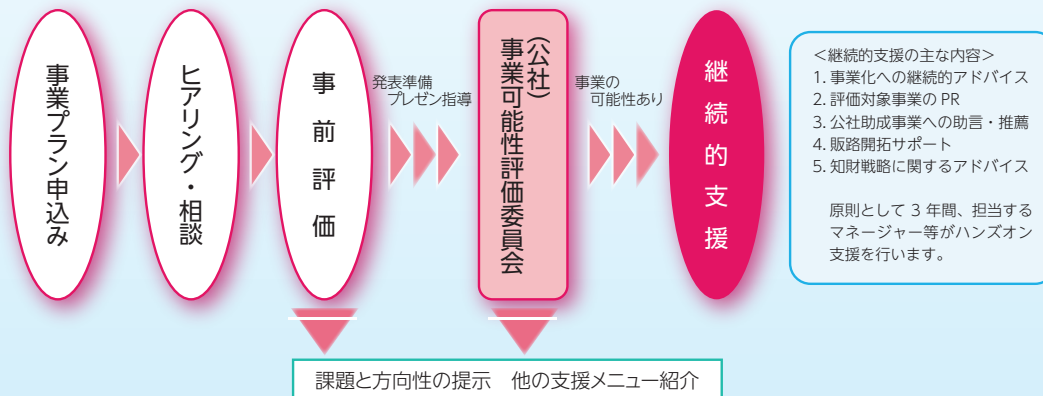
## 「事業可能性評価事業」を活用した成長分野への取組み

当社グループでは、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、公社）と業務連携し、公社が実施する「事業可能性評価事業<sup>\*</sup>」を活用したスキームを構築しております。このスキーム構築に伴い、グループ内3行において、融資商品「事業可能性評価融資制度『事業のチカラ』」を取扱っております。

お客様の持つアイデア・技術力等を、公社のノウハウを活用することにより適切に評価させていただき、更なる金融仲介機能の向上に努め、地域経済に貢献してまいります。

※公社が新規事業プランについてアドバイス・評価を行い、成長性が高いと認められる事業プランに対して、事業化への継続的アドバイスや販路開拓サポート、知財戦略に関するアドバイスなど各種の支援事業を活用して継続的な支援を実施する事業です。

### 〈公社との連携による事業可能性評価事業のスキーム〉



## 「認知症サポーター」養成への取組み

高齢化が急速に進む中、当社グループでは、認知症の方やそのご家族の皆さまが安心して暮らせる地域社会を目指し、「認知症サポーター」を養成する取組みを行っております。

東京都民銀行では、職員全員が「認知症サポーター」の資格を取得する取組みを実施しており、八千代銀行においても、すべての部店に「認知症サポーター」を配置しております。



# 東京TYフィナンシャルグループのCSR

## スポーツ振興を通じたCSRへの取組み

当社グループでは、スポーツ振興や金融サービスの提供を通じたCSRに取り組んでおります。

東京都民銀行では、Jリーグクラブ「FC東京」を運営する東京フットボールクラブ株式会社と連携しており、毎年開催する応援イベント「東京都民銀行Day」において子どもたちの育成資金の贈呈も行っております。八千代銀行では、JFAが主催する「JFAこころのプロジェクト」に賛同し、各スポーツ界で活躍する選手、OB・OGの方々が授業を行う「夢の教室」の開催をサポートするほか、「『夢先生』応援定期預金」を取扱い、残高の一定相当額を寄付しております。



© FC東京



夢先生：杉山祥子氏  
(バレーボール)

## 献血への協力

当社グループでは、東京都赤十字血液センターによる献血活動に協力しております。

東京都民銀行では、平成21年より、関連会社を含めた役職員が献血を行っているほか、平成28年からは八千代銀行も献血活動に協力しております。



## 「花粉の少ない森づくり募金」への協力

東京都民銀行では、「花粉の少ない森づくり定期」預金を取扱い、預金を通じて集められた残高の一定相当額を、公益財団法人東京都農林水産振興財団が運営する「花粉の少ない森づくり募金」へ寄付しております。平成28年からは、八千代銀行も同定期預金の取扱いを開始し、グループを通じて環境に配慮した金融サービスの提供を行っております。

(右) (公財) 東京都農林水産振興財団 理事長 産形 稔 氏  
(左) 東京都民銀行 常務取締役 小田 建二



## 多摩川・相模川の清掃活動

八千代銀行では、職員やその家族らが協力し、多摩川や相模川の清掃活動を行っております。これらの活動には子どもたちも参加し、環境教育を兼ねた取組みとなっております。

昨年行われた多摩川の清掃活動には、東京都民銀行の職員も参加し、グループを通じた環境問題への取組みを行っております。



# 店舗ネットワーク (平成28年11月30日現在)

## 営業エリア 164店舗

### 東京都 124店舗

#### 東京都市民銀行

- 本店営業部
- 神田支店
- 東日本橋支店
- 茅場町支店
- 日本橋支店
- 麻布支店
- 浜松町支店
- 新橋法人営業部
- 新宿支店
- 東新宿支店
- 西大久保支店
- 春日町支店
- 御徒町支店
- 錦糸町支店
- 深川支店
- 城東支店
- 東陽町支店
- 南砂特別出張所

- 武蔵小山支店
- 五反田支店
- 学芸大学駅前支店
- 蒲田支店
- 大森支店
- 世田谷支店
- 九品仏支店
- 代田支店
- 渋谷支店
- 中野支店
- 阿佐ヶ谷支店
- 池袋支店
- 王子支店
- 王子北出張所
- 三河島支店
- 板橋支店
- 上板橋支店
- 小竹向原出張所
- 江古田支店

- 上石神井支店
- 大泉支店
- 練馬支店
- 千住支店
- 竹ノ塚支店
- 立石支店
- 亀有支店
- 小岩支店
- 葛西支店
- 船堀支店
- 八王子支店
- 西八王子支店
- 堀之内支店
- 立川支店
- 三鷹支店
- 青梅支店
- 百草支店
- 豊田支店
- 西国分寺支店

- 久米川支店
- 秋津支店
- 保谷支店
- 東伏見支店
- 狛江支店
- 神代出張所
- 東久留米支店
- 滝山支店
- 多摩支店
- 若葉台支店
- 稲城支店
- 玉川学園支店
- 成瀬台出張所
- 武蔵野支店
- 小平支店
- 京ステーション支店
- インターネット支店

#### 八千代銀行

- 本店営業部
- 代々木支店
- 渋谷支店
- 青山通支店
- 幡ヶ谷支店
- 代々木上原出張所
- 笹塚支店
- 原宿支店
- 高円寺支店
- 富士見ヶ丘支店
- 烏山支店
- 祖師谷支店
- 自由が丘支店
- 東池袋支店
- 西池袋支店
- 椎名町支店

- 板橋支店
- 中板橋支店
- 滝野川支店
- 石神井支店
- 上石神井支店
- 大泉支店
- 赤塚支店
- 豊島園支店
- 神田支店
- 八丁堀支店
- 吾孺支店
- 目黒支店
- 西六郷支店
- 北綾瀬支店
- 新小岩支店
- 町田支店
- 旭町出張所

- 金森出張所
- 南町田支店
- 町田木曽支店
- 相原支店
- 成瀬支店
- 鶴川支店
- 府中支店
- 東府中支店
- 中河原支店
- 調布支店
- 武蔵境南支店
- 久米川支店
- 和泉多摩川支店
- 百草園支店
- 稲城向陽台支店
- 八王子支店
- 昭島支店

#### 新銀行東京

- ◆ 本店

※新銀行東京の新宿、蒲田、上野、立川、錦糸町、池袋、渋谷、新橋の各出張所は本店内にて営業しております。

### 神奈川県 36店舗

#### 八千代銀行

- 大和支店
- 南林間支店
- ひばりが丘出張所
- 高座渋谷支店
- 淵野辺支店
- 千代田出張所
- 南淵野辺支店
- 橋本支店

- 相模台支店
- 相模大野支店
- 相模原支店
- 相模原法人営業部
- 大沼支店
- 二本松支店
- 城山支店
- 東林間支店
- 上溝支店

- 田名支店
- 古淵支店
- 相武台支店
- 海老名支店
- 厚木支店
- さがみ野支店
- 湘南台支店
- 長津田支店
- 中山支店

- 希望が丘支店
- 瀬谷支店
- 市が尾支店
- 登戸支店
- 稲田堤支店
- 新百合ヶ丘支店
- 久地支店
- 横浜西口支店

#### 東京都市民銀行

- 横浜支店
- 梶ヶ谷支店

### 千葉県 1店舗

#### 東京都市民銀行

- 船橋支店

### 埼玉県 3店舗

#### 東京都市民銀行

- 戸田支店
- 朝霞支店

#### 八千代銀行

- 鳩ヶ谷支店

■ 平成29年1月4日より下記の通り店舗名が変更となります。

#### 【東京都市民銀行】

現在の支店名	変更後の支店名
神田支店	神田中央支店
八王子支店	八王子中央支店
板橋支店	板橋本町支店
渋谷支店	渋谷中央支店
上石神井支店	上石神井北支店
大泉支店	大泉学園駅前支店
久米川支店	久米川駅前支店

#### 【新銀行東京】

現在の店名	変更後の店名
本店	東京みらい営業部
新宿出張所	新宿SG出張所
蒲田出張所	蒲田SG出張所
上野出張所	上野SG出張所
立川出張所	立川SG出張所
錦糸町出張所	錦糸町SG出張所
池袋出張所	池袋SG出張所
渋谷出張所	渋谷SG出張所
新橋出張所	新橋SG出張所

※店舗名の変更に際し、店番号ならびにお客さまの口座番号の変更はございませんので、現在お使いいただいている通帳・証書やカードはそのまま継続してお使いいただけます。

# 株式のご案内

## 株式数および単元株主数

(平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	112,000,000株
普通株式	100,000,000株
第1回第一種優先株式	5,000,000株
第2回第一種優先株式	5,000,000株
第二種優先株式	2,000,000株
発行済株式総数	33,400,115株
普通株式	30,650,115株
第1回第一種優先株式	750,000株
第二種優先株式	2,000,000株
単元株主数	11,494名
普通株式	11,492名
第1回第一種優先株式	1名
第二種優先株式	1名

## 大株主の状況

(平成28年9月30日現在)

### 普通株式

名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
三井住友信託銀行株式会社	2,290,600	7.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,238,300	7.34
東京都	1,197,889	3.93
株式会社みずほ銀行	715,607	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	590,300	1.93
八千代銀行従業員持株会	472,100	1.54
三井住友海上火災保険株式会社	461,072	1.51
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	419,057	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	416,100	1.36
東京都民銀行職員持株会	412,289	1.35

(注) 持株比率は、自己株式を除く発行済普通株式総数に対する割合を記載しております。

### 第1回第一種優先株式

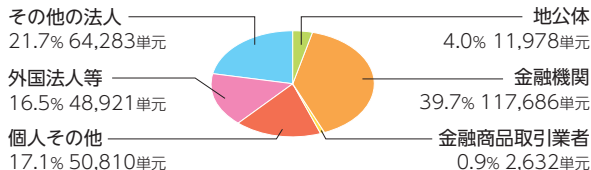
三井住友信託銀行株式会社	750,000	100.00
--------------	---------	--------

### 第二種優先株式

東京都	2,000,000	100.00
-----	-----------	--------

## 単元株式の所有者別割合

(平成28年9月30日現在)



(注) 1. 単元株式の所有者割合は、自己株式を除く単元株式の総数に対する割合を記載しております。

2. 1単元の株式数は100株です。

## 株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社本店
お問い合わせ先・郵送物送付先	〒168-8620 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 日本証券代行株式会社代理人部 ☎ 0120-707-843

## 各種手続き窓口について

- 未払配当金のお支払い  
株主名簿管理人(日本証券代行株式会社の本支店)および三井住友信託銀行株式会社の本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)が窓口となります。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定など
  - 証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主さま  
口座開設されている証券会社にお申し出ください。
  - 証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主さま

### お問い合わせ窓口

日本証券代行株式会社(特別口座管理機関)に特別口座を開設・管理しておりますので、下記連絡先にお問い合わせください。

※平成28年12月2日をもって、八千代銀行の旧株主さまの特別口座管理機関を日本証券代行株式会社に変更させていただきました。

- 特別口座管理機関  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社
- お問い合わせ先・郵送物送付先  
〒168-8620  
東京都杉並区泉和二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社  
代理人部  
☎ 0120-707-843

## 単元未満株式の買増・買取のご案内

当社は、単元未満株式の買増制度と買取制度を採用しております。 ※1単元（100株）でお持ちいただくと株主総会で議決権を行使できます。

### 単元未満株式

当社の場合、1株～99株の株式のことをいいます。また、100株単位の株式を単元株式といえます。

### 単元未満株式の買増

自己名義の単元未満株式を有する株主さまが当社から1単元（100株）に不足している株式を買増し、1単元の株式にできるというもので、当社の特別口座の口座管理機関である日本証券代行でお受けしております。（単元未満株式を証券会社の口座へ振り替えた株主さまは、お取引の証券会社にお申し出ください。）

#### 買増請求のお取扱いができない場合

以下の場合には買増請求のお取扱いができませんので、あらかじめご了承ください。

- 毎年3月末日から起算して10営業日前から3月末日までの期間、および9月末日から起算して10営業日前から9月末日までの期間。（受付場所により受付停止期間が異なりますのでご注意ください。）
  - その他、当社が必要と認めたとき。
- ※八千代信用金庫の出資証券（代々木信用金庫、東神信用金庫、日の出信用組合の出資証券を含む）をお持ちの株主さまは、買増請求に先立ち、出資をされた八千代銀行の営業店で所定の手続きをさせていただく必要があります。

### 単元未満株式の買取

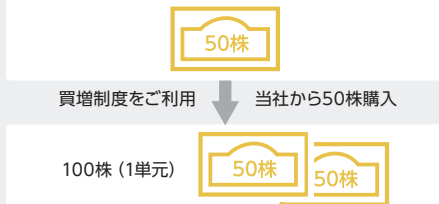
当社が株主さまから単元未満株式を買取ることで、日本証券代行でお受けしております。（単元未満株式を証券会社の口座へ振り替えた株主さまは、お取引の証券会社にお申し出ください。）

#### 買取請求のお取扱いができない場合

毎年3月末日から起算して3営業日前から3月末日までの期間、および9月末日から起算して3営業日前から9月末日までの期間においては、買取請求のお取扱いができませんので、あらかじめご了承ください。（受付場所により受付停止期間が異なりますのでご注意ください。）

※八千代信用金庫の出資証券（代々木信用金庫、東神信用金庫、日の出信用組合の出資証券を含む）をお持ちの株主さまは、買取請求に先立ち、出資をされた八千代銀行の営業店で所定の手続きをさせていただく必要があります。

#### 具体例 50株をお持ちの株主さま



#### 具体例 50株をお持ちの株主さま



- 株式事務手続きに関するお問い合わせ  
日本証券代行株式会社 ☎ 0120-707-843

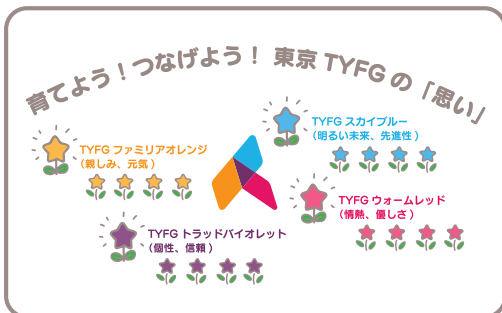
- 特別口座に関するお問い合わせ  
日本証券代行株式会社 ☎ 0120-707-843

### 株主さまの個人情報のお取扱いについて

株主さまの個人情報のお取扱いにつきましては、当社ホームページをご参照ください。  
<http://www.tokyo-tyfg.co.jp/stock/sharesoffice.html>



リトルツインスターズの2人が  
育てている星の色にはこんな意味があります。



このたび当社イメージキャラクターとして  
「リトルツインスターズ」を起用いたしました。  
誕生40周年を迎えた、サンリオの代表的なキャラクターで、  
デザインは当社オリジナル。  
星の色には当社グループの思いが込められています。



LittleTwinStars



思いを預かる。思いをつなぐ。  
東京TYフィナンシャルグループ

